

軟質材料の高分解能観測で覚書締結

- 仏ボルドー大学(CPMOH)と産総研東北センター -

9月6日(木)産総研東北センターにおいて、仏ボルドー大学Ⅱ分子物理とヘルツ波光学センター(CPMOH)と産総研東北センターの間で、「ナノスケール表面科学」特に「軟質材料の高分解能観測」に関し、3年間に亘る研究協力を記した覚書の締結式を行いました。

東北センター基礎素材研究部門高耐

食性コーティング研究グループとCPMOH局所力検出法による軟質材料のナノ物理研究グループ長J. P. Aimé博士等は、金属材料の表面を原子レベルで平坦化して、材料の長寿命化を図る技術とその処理面上における軟質防食性分子の吸着層の高分解能観測・評価法について研究していきます。



シンガポール副首相来訪



9月7日(金)産総研臨海副都心センターにトニー・タン シンガポール副首相が来訪されました。吉川理事長、平石副理事長、曾我理事(臨海副都心センター所長)、中島理事と会談され、当研究所及び臨海副都心センターの概要、国際研究交流大学村について説明を受けられ、その後、臨海副都心センターにある研究ユニット、サイバーアシスト研究センター及び生物情報解析研究セン

ターをご視察されました。

サイバーアシスト研究センターでは、レーザーによる近距離の位置追跡と双方向通信に基づいた道案内などの様々な情報サービスを可能にする技術の研究現場を視察され、その基礎技術を検証するために試作された「空中イライラ棒」(空中に設定した見えない経路を辿るゲーム)を、副首相自らが試されました。

特許庁長官来訪

8月31日(金)及川特許庁長官が、産総研を訪問されました。はじめに平石副理事長、中島理事より当所の概要説明がなされ、引き続き、池上理事、産学官連携部門長、知的財産部長が、産総研の産学官連携推進、知的財産の取扱い、技術移転活動などについて説明を行いました。

当所の概要説明のあと、知的財産部産総研イノベーションズ(TLO)を訪れ、

職員から直に業務内容の説明を受けられました。

引き続き、産総研の研究成果を活用し、ベンチャーを起業した研究ユニット、次世代半導体研究センターおよび分子細胞工学研究部門を視察され、「遺伝的アルゴリズムを用いた自律調整型レーザーシステムの研究」および「DNAチップを用いた癌関連遺伝子の解析」について説明を受けられました。



産業技術連携推進会議「窯業部会」開催

<http://unit.aist.go.jp/collab/collab-hp/wholesgk/sangiren.htm>

平成13年5月24日(木)25日(金)の2日間、熊本厚生年金会館において、標記総会が67名(47機関)の参加のもと開催された(写真1)。第1日目が本会議。2日目が現地研修。なお、総会に先だって23日(水)17時より、7地域の地域部会長会議が開かれた(写真2)。

窯業部会は旧窯業連合部会から引き継ぎ、本年48回目を迎えた。セラミックの技術に関する情報発信及び伝統と先端技術の交流を推進し、窯業の振興、活性化を図ることを目的に、中部産学官連携センターを事務局に公設試59

機関で構成されている。

本会議は午前、平成12年度工業技術連絡会議、地方窯業事情並びに地方部会活動などの報告が行われ、午後は審議事項として、原料分科会を再開させ、「日本の窯業原料」データベース事業への取り組みを、部会傘下の窯業技術担当者会議(通算35回)とファイナセラミックス分科会(通算24回)の統合(セラミックスの中で特別視されていたファイナセラミックスとの区別が難しいことによる)2つが提案された。これらの案件はいずれも承認された。

更に新組織となった経済産業省の産業技術環境局、製造産業局、中小企業庁から国の施策について、また産総研からは新組織の概要や研究の方向性が紹介された。

最後に「窯業の地域における活性化」をテーマに討論。5地域の事例をもとに活発な意見交換がされ、公設試との連携のもと、窯業技術レベルの向上及び活性化を図ることが確認された。また、この席で功労者5名の表彰が行われた(写真3)。



写真1 第48回窯業部会総会



写真2 地域部会長会議



写真3 部会功労者の表彰

産業技術連携推進会議「繊維部会」開催

<http://unit.aist.go.jp/collab/collab-hp/wholesgk/sangiren.htm>

平成13年5月31日(木)6月1日(金)の2日間、和歌山市「ホテルアバローム紀の国」において、標記総会が約60名(43機関)の参加を得て開催された(写真)。繊維部会は繊維産業技術分野に関係する諸機関との交流と連携の推進を図るため、公設試が主体的に運営(部会長、事務局は公設試、産総研関西センターが事務局補佐)する公設試43機関より成る組織である。

本総会では、関係官庁の事業説明として、「最近の産業技術政策の動向について(喜多見淳一 経済産業省産業技術環境局技術振興課産総研チーム長)」「中小企業の技術力向上に向けて(田

中秀明 中小企業庁技術情報化推進係長)」「繊維部会に対する、独法産総研/産総研関西センターとしての協力強化のための支援策(佐藤義幸 産総研関西産学官連携センターものづくり基盤技術支援室長)のプレゼンテーションがあった。

平成12年度の事業報告のあと、平成13年度の繊維部会役員が承認された。平成13年度の事業としては、総会、幹事会(4月27日、10月19日、平成14年2月予定)のほか、各地方部会(関東・東北、北陸、東海、近畿、中国・四国・九州)ごとに、総会や研究会を開催するとともに、分科会(繊維試験法分科会、素材・製布分科会、染色加工分科会、縫製技術分科会、デザイン分科会)において、研究会の開催予定が承認された。10月20、21日に兵庫県西脇市において、繊維公設試の試作品等の成果を展示する第39回全国繊維技術交流プラザが予定されている。(詳細は産総研HPのイベント案内を参照)

翌、6月1日、株式会社島精機製作所

を訪問し、古金谷伸二 取締役による特別講演のあと、製造工場とトータルデザインセンターを見学した。東証一部上場の同社は、機械の自動化の先取り、コンピュータ化の先取り、コンピュータグラフィックスの先取り、IT化の先取りを続けてきている。特別講演は、「『モノづくり』にこだわりをもっている。和歌山の地で『モノづくり』を続ける。」という熱い気持ちが伝わる内容であり、「これからの『モノづくり』に求められるものとして、Relationship Technologyにより、心の満足度を高めることを目標としている。」という言葉で締めくくられた。

国内の繊維産業は中国、東アジアからの輸入の急増により、以前にも増して厳しい状況にあるが、日本の繊維産業の自活化、活性化を図るためには、環境安全性を配慮した品質や省資源、環境に配慮したモノづくりがさらに重要になりつつある。公設試が都府県を超えた連携により、技術的な課題を解決することがこれからの重要な方向である。



第1回繊維部会総会

国際シンポジウム

- ナノテクノロジーが拓く 21 世紀の産業技術 -

<http://www.aist.go.jp/pr/nanotech2001/>

当研究所では「ナノテクノロジーが拓く21世紀の産業技術」と題して、第一回産業技術総合研究所国際シンポジウムを開催します。

ナノテクノロジーは次世代産業を担う基盤技術として、現在多くの注目を集めています。本シンポジウムは、ナノテクノロジーに関する研究戦略の講演と、ナノ構造を「創る」「見る」「発現する」「応用する」という一連の流れからなる、国内外の著名な研究者が講演するセッションで構成されています。

日時 11月13日(火)・14日(水)
場所 国際研究交流大学村
東京国際交流館 プラザ平成
参加費 無料
問い合わせ先
国際関係室 安部浩司
koji-abe@aist.go.jp
Tel 0298-61-5033

申し込み方法・プログラム等詳細情報はホームページをご覧ください。

ナノテクノロジー
が拓く21世紀の産業技術
AIST International Symposium on Nanotechnology
<http://www.aist.go.jp/pr/nanotech2001/>
期日: 2001年11月13日(火)・14日(水)
会場: 国際研究交流大学村
東京国際交流館 プラザ平成
参加費: 無料

プログラム

- 13日(火)
 - オープニングセッション (10:00)
 - ナノテクノロジーの基礎 (10:30)
 - ナノテクノロジーの応用 (11:00)
 - ナノテクノロジーの未来 (11:30)
- 14日(水)
 - ナノテクノロジーの基礎 (10:00)
 - ナノテクノロジーの応用 (10:30)
 - ナノテクノロジーの未来 (11:00)

● 特別セミナーを開催しております
● 特別講演者として、国内外の著名な研究者が講演いたします
● 特別講演者として、国内外の著名な研究者が講演いたします
● 特別講演者として、国内外の著名な研究者が講演いたします

独立行政法人 産業技術総合研究所

産業技術総合研究所
中国センター
一般公開
2001年11月2日(金)
9時30分～16時30分
入場無料
市民科学技術セミナー同時開催
講演者 坂田明氏 (Mitsuhisa Sakata)
講演 水にはミジンコがある、海や川や人間にも都合があるように
会場 産総研中国センター (広島県呉市広末広2-2-2)

中国センター 一般公開

<http://unit.aist.go.jp/chugoku/>

中国センターでは、世界最大級の瀬戸内海大型水理模型をはじめ、地域の産業技術に役立つ先端技術の研究施設を公開します。

当日は市民科学技術セミナー(呉市共催)を同時開催します。講演者はサククス奏者の坂田明氏です。

講演会 10時～11時15分
演題: ミジンコにはミジンコの都合がある、海や川や人間にも都合があるように

日時 11月2日(金)
9時30分～16時30分
場所 産総研中国センター
(広島県呉市広末広2-2-2)
問い合わせ先
中国産学官連携センター
(Tel 0823-72-1903)

市民科学技術セミナーに参加ご希望の方は産学官連携センターへお申し込みください。

中部センター 一般公開

<http://unit.aist.go.jp/chubu/index.html>

今年7月に中部センターの新施設が志段味地区に完成し、11月中旬には移転が完了します。

この移転を機会に11月15日には「自然に学ぶ科学(サイエンス)」をキャッチフレーズに一般公開を開催します。

この公開では最新の研究成果を紹介するとともに、「暮らしの中の化学」をテーマに公開講座を開催します。移転間もない当センターですが、多数の方々に来訪していただけることを期待しています。

公開講座「暮らしの中の化学」

講演:

「木材利用が救う地球と暮らし」
「セラミックスで健康に、歯をきれいに」 - 有害物質を吸着して分解する新材料 -

参加費: 無料

申込締切: 11月8日(木)必着
申込方法等、詳細は右記の問い合わせ先にご連絡ください。



日時 11月15日(木)10時～16時30分
場所 産総研中部センター
(名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞2266)
対象 小学生から一般まで
問い合わせ先
中部産学官連携センター
(Tel 052-736-7000)



研究講演会 「人間の自立を支える新技術」

- 人・ゲノム・細胞 -

<http://unit.aist.go.jp/kansai/>

関西センターでは、ライフサイエンス分野を重要な研究分野のひとつとして位置づけています。

その研究内容を紹介し一層の産学官連携を進めていくため「人間の自立を支える新技術」 - 人・ゲノム・細胞 - と題して研究講演会を開催します。

日時 11月7日(水)10時~17時40分
場所 池田市民文化会館 大ホール
(大阪府池田市天神1-7-1)

申し込み締切 10月31日(水)
問い合わせ先・参加申し込み先
関西産学官連携センター
(Tel 0727-51-9606)

イベント案内

http://www.aist.go.jp/aist_j/event/event_main.html 10月3日現在

期間	件名	開催地	問い合わせ先
2001.9.4-12.13	平成13年度NEDO先端技術講座	茨城県つくば市	0298-58-6043
2001.10.3-12.15	発見と交流のなごや科学技術推進月間 ~なごや・サイエンス・ひろば~	愛知県名古屋市	052-972-2422
2001.10.20-10.21	第39回全国繊維技術交流プラザ	兵庫県西脇市	0795-22-2041
2001.10.25	大気浄化光触媒シンポジウム ~「光触媒ビジネス最前線」出版記念~	東京都千代田区	03-5689-6361
2001.10.25-10.26	ひろしまIT&テクノフェア'01	広島県広島市	082-242-7741
2001.10.25-10.26	グローバル・ベンチャーフォーラム2001	大阪府大阪市	06-6944-6403
2001.10.26	第14回生命工学シンポジウム 「構造規制界面における生物/有機電気化学」		FAX 茨城県つくば市 0298-61-6177
2001.10.26	第2回深海底鉱物資源シンポジウム テーマ:「日本近海における鉱物資源の賦存状況とその資源生成システム」	東京都千代田区	03-5512-1393
2001.10.26-10.27	北陸技術交流テクノフェア2001	福井県福井市	0298-61-9108
2001.11.2	一般公開(中国センター)	広島県呉市	0823-72-1903
2001.11.3	広島中央テクノフェア2001 ~つながる技術 広がる未来~	広島県東広島市	0824-20-0941
2001.11.6-11.9	第18回科学機器展(併催 パイオフォーラム2001 OSAKA)	大阪府大阪市	06-6343-3223
2001.11.7	研究講演会「人間の自立を支える新技術」- 人・ゲノム・細胞 -	大阪府池田市	0727-51-9606
2001.11.13-11.14	国際シンポジウム「ナノテクノロジーが拓く21世紀の産業技術」	東京都江東区	0298-61-5033
2001.11.14-11.17	びわ湖国際環境ビジネスメッセ2001 一知恵と技術で地球をまもる	滋賀県長浜市	077-526-3575
2001.11.15	一般公開(中部センター)	愛知県名古屋市	052-736-7000
2001.11.15-11.17	2001東日本食品総合機械展・2001東日本厨房機器展	宮城県仙台市	022-225-8734
2001.11.15-11.17	テクノピア2001仙台	宮城県仙台市	022-225-8734
2001.12.11-12.12	2001 JRCAT アトムテクノロジーシンポジウム - プロジェクト成果と今後 -	東京都中央区	03-5821-3777
2002.2.21-2.23	ファインセラミックスフェア2002	愛知県名古屋市	052-221-0732

は、産総研内の事務局を表します。

AIST Today 2001.10 Vol.1 No.9

編集・発行 独立行政法人産業技術総合研究所 成果普及部門広報出版部出版室

〒305-8563 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第3

電話番号 0298(61)9102 FAX番号 0298(61)4129

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

所外からの寄稿や発言内容は、必ずしも当所の見解を表明しているわけではありません。

産総研ホームページ <http://www.aist.go.jp/>